いわみざわ市

緑の相談コーナーだより

岩見沢市志文町794

No.36

2016年2月1日発行





ジンチョウゲ

Daphne odora

ジンチョウゲ科ジンチョウゲ属 原産地:中国および日本



ジンチョウゲは高さ 1mほどになる雌雄異株の常 緑低木です。2~3月ごろに上品な芳香を持った星 形の小さな薄ピンク色の花を咲かせます。和名では 「沈丁花」と書き、お香などで有名な沈香と、スパイ スでなじみのある丁字(クローブ)に似た香りがす る事からきています。更に、学名の Daphne は神話 に登場する女神ダフネの名にちなみ「良い香りのす る妖精」という意味を、odora は「芳香」という意味 を持ちます。他にも中国では瑞香や千里香と呼ばれ、 いくつもの香りに由来する名前がついていることか ら、その香りで春の訪れを告げる花である事がうか がえます。

そんなジンチョウゲが日本に渡ってきたのは室町 時代、中国から雄株のみが渡来したといわれていま す。雌株がないと実をつけませんので、実生ではな く挿し木で殖やし普及していきました。近年雌株も 導入され、実がなる所も見る事ができるようになり ましたが、毒性があるため食べる事はできませんの で気をつけましょう。ただし花は「瑞香花」という 漢方薬として使用されています。



北海道では屋外で越冬できないジンチョウゲです が、ナニワズという同属のものは北海道でも越冬で きる耐寒性を持っています。花は黄色で、ほのかに 芳香性もあり、ジンチョウゲと比べ楚々としている 印象があります。ナニワズは暑さに弱く、夏に落葉 し休眠します。そして秋に新葉が展開し、初冬には 蕾をつけてそのまま越冬する少し変わった植物で す。夏に落葉することから「ナツボウズ」とも呼ばれ、 また樹皮が丈夫で柔軟であることから鬼を縛ること ができるとの意味で「オニシバリ」とも呼ばれます。

同属でも様々な特徴を持つジンチョウゲは、約 90 品種がアジアからヨーロッパにかけて幅広く分 布しています。ヨーロッパが原産の種は日本では高 温・多湿のために栽培が難しいものもありますが、 一般にジンチョウゲは適度な湿気のある、涼しい場 所を好みます。

色彩館の大温室では、今年も順調に蕾をつけ、少 しずつ咲き始めています。心が浮き足立つような春 の香りをぜひ楽しみにいらしてください。

ばらいるぐ

ようやく北国らしく雪が積もり、本来の雪景色になってきましたね。 北国でのバラは外で栽培している場合、ほとんどが冬は雪の中です。 バラにとって雪は空気を含んだ天然の断熱材でもあり、例えば気温が マイナス5度でも雪の中は0度くらいと、雪に埋もれていないほうが 寒風による凍害などの危険性が増します。そのような凍害を最小限に 抑えるために、当園では冬囲いの際に防風ネットやコモをバラに巻い ています。ですが積雪量もこれまた問題で、多ければ春先に除雪をし なくてはならなくて、少なければバラの凍害が心配であり毎年ヒヤヒ ヤしています。ヒヤヒヤといえば、冬を越す前には、雪が積もるまで に冬囲いが終わるか、という問題もありましたが……なにはともあれ、 雪の量と春からの天候次第で今年の株の状態と開花期が分かるので雪 の量は少なからず、多すぎずと願うばかりです。



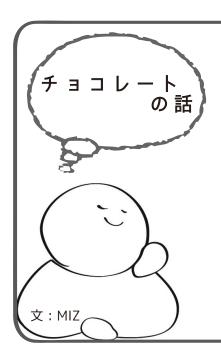
大温室ではジンチョウゲが色濃く香り、ギンヨウアカシアやクリスマスローズ、様々な香りツバキなどが見られ花いっぱいです。 今月 18 日からはいわみざわ洋らん展も開催されて、ますます賑やかになりそうです。

バラ園

雪の少ない年明けでしたが、1月中に積雪深は平年並みになり除雪作業の日々です。ポットバラのお世話など春に向けた作業を着々とこなしています。色彩館のつるバラの剪定も昨年のうちに終了し、徐々に芽吹いてきています。咲く頃が待ち遠しいです。

花と緑の供給センター

年末に播種したパンジービオラや夏花のゼラ こウムやベゴニアのポット上げ作業、またペ チュニアの播種作業と何かとせわしない毎日 ですが、無事に発芽してすくすく育っている 花苗たちを見るとなんだか頑張れます。

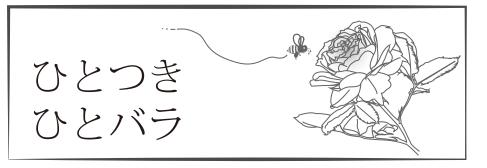


もぐり。

雪が少ないながらも、キンと冷える日々が続きますね。除雪作業やスキーなどの屋外で活動した後に食べるチョコレートは、至福の味ではないでしょうか。カカオの含有量が多いチョコレートは、ここでは書

よし なし ごと

ききれないほど様々な健康効果を持つ食品とされています。紀元前には、カカオ豆をすり潰し薬として飲んだという記録がある事からもその効果をうかがえますね。食べ過ぎるとニキビが出るといわれていますが、科学的には証明されていないらしいですよ。ただし、もう1つ有名な鼻血が出るというのは、チョコレートに血行をよくする成分が含まれている事から、あながち迷信ではないようです。いずれにしても、自分の適量を把握して食べ過ぎないよう気をつけましょう。



文:新堂大樹 (いわみざわ公園バラ園)

イラスト:藤川志朗 (イラストレーター)

第二十三回

ラージフラワード クライマー ローズ

ジャスミーナ

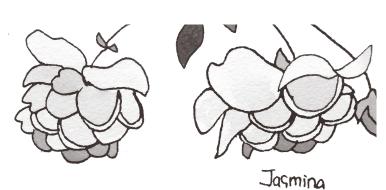
Jasmina

作出国:ドイツ 作出者: Kordes 作出年: 2005 年

ハーディネスゾーン: Z5

返り咲き性

交配: 実生 xCentenaire de Lourdes



花は優しげなピンク色で中心は濃いピンク 色、クォーターカップ咲きで8~10輪程度の 房咲きです。花弁はハート型をしていて、やや うつむき加減に開花する可愛らしい雰囲気を 持っています。またその花容を、ピエールドゥ ロンサールを小さくしたようだとよく例えら れ、なおかつオールドローズを思わせる上品さ も兼ねそろえている花です。名前からジャスミ ンの香りを想像しますが、りんご系の香りがほ のかにしっかりと香ります。花痛みも少なく、 花が終わる頃には桜のようにひらひらと美しく 散っていきます。枝がしなやかで多すぎず誘引 もしやすく、下向きに花が咲くので特にアーチ に誘引すると見上げて楽しむことが出来ます。 うどんこ病に強く、耐寒性もある強健な品種で あり、初心者の人でも育てやすい品種です。

ジャスミーナの交配親のサントネール ドゥルルドも、強健で人気の高い品種です。名前のサントネールとは、フランス語で 100 年という意味で、カトリック教会の巡礼地となってい

る南フランスの町「ルルド」にある「ルルドの泉」が、100年を迎えたことを記念して名づけられたバラです。その交配を受け継いだジャスミーナもなにか由来しているものがあるのでは、と調べましたが特に由来はなく、ドイツでよく女性の名前に使われているそうです。可愛らしい花容から女性を連想させて名付けたのかもしれませんね。

バラ園内花壇でも栽培されているジャスミーナですが、成長が穏やかな為なかなか新しいシュートが出ず、伸びがいまひとつ足りませんでした。しかし、昨年はジャスミーナの凍害がほぼなく、良いシュートが出はじめ、少しずつ株も大きくなっています。今年の越冬次第では昨年よりも見ごたえのある株になることと思います。少し遅咲きではありますが、他のバラ同様に最盛期の7月上旬頃には見ごろを迎えると思いますので、上品で可愛らしいジャスミーナを是非見に来てください。



日 2015年2月18日(木)~ 程 2015年2月21日(日)

時間:9:00~17:00(最終日は16:00まで)

場所:いわみざわ公園バラ園

室内公園色彩館ロビー

市民の方の出展も大歓迎です。丹精込めて育てたあなたの一鉢を出展して、会場をいっぱいランの花園にしてみませんか?出展料は何点でも無料です。

入場無料!

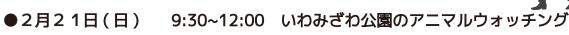
お申し込み:2月13日(土)までに

色彩館 0126-25-6111 まで

最終日 2/21 (日) は 講習会も あります!



2月の市民園芸講座のご案内



無料 定員:40名 講師:若林信男さん 岩見沢野鳥の会会長

●2月21日(日) 13:00~15:00 洋らん栽培の楽しみ方

無料 定員:40名 講師:川面 豊樹さん えるむ花園

●3月13日(日) 13:00~15:00 家庭果樹の楽しい管理

無料 定員:40名 講師:内田 哲嗣さん 中央農業試験場

●3月20日(日) 13:00~15:00 色彩館でスケッチしよう

無料 定員:10名 講師:藤川志朗さん イラストレーター

●3月26日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ①バラの系統と特徴について

無料 定員:40名 講師:工藤 敏博さん ローズグロワー

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社(いわみざわ公園バラ園指定管理者) お問合わせ いわみざわ公園バラ園 室内公園「色彩館」 0126-25-6111